長野高校（国際教養科）シラバス

学校番号	321

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ	単位数	３	年次	３
使用教科書	精選古典Ｂ　【改訂版】（大修館書店）						
副教材等	新精選古典文法改訂版（東京書籍）新版三訂新国語便覧（第一学習社） プログレス古文総演習発展編（いいずな書店）						

１　担当者からのメッセージ

・古典Ｂの時間では、有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく内容を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・登場人物の心情や作者の意図について、文章記述、発表などを行います。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。
・基本的な文法事項を理解し、内容の正確な理解に活かしている。
・語彙力を身につけ、内容の正確な理解に活かしている。
・作品の歴史的背景や当時の人々の価値観、思想・宗教の潮流を理解し、視野を広げている。
・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度			d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	伝統的な言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			古文を正確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び古文・漢文の特徴や文法、語彙などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）			記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	物語(一)	物語を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。 教材:大和物語「をばすて」 源氏物語「葵」	○			◎	○	a:積極的に音読している。古語辞典を使用して意味を調べている。 d:物語の流れ、登場人物の動きや心情を理解している。 e: 重要古語の意味、助動詞の用法、敬語のしくみについて理解している。作品について、文学史的知識を持っている。	a:行動の観察と記述の点検 de:記述の点検
	史伝	「史記」の有名な部分を読み、漢文の力強さや史伝の面白さを味わう。 教材:「荊軻」	○			◎	○	a: 「史記」の内容や構成について関心を持ち、調べている。 d: 脚注を参照しながら、重要句形の用法を理解し、正確に現代語訳している。 e: 「史記」の成立事情や内容について基本的知識を持っている。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
	日記・随筆	日記・随筆を読んで、作者の行動や心情を話の展開に即して読み取る。 教材:紫式部日記「和泉式部と清少納言」・枕草子「うれしきもの」	○			◎	○	a:積極的に音読している。古語辞典を使用して意味を調べている。 d:古語の意味、文法事項を押さえながら、正確に口語訳し内容を理解している。 e: 重要古語の意味、助動詞の用法について理解している。作品について、文学史的知識を持っている。	a:行動の観察を記述の点検 de:記述の点検と確認
	漢詩	漢詩を読み、作者の物の見方、価値観、感情を理解する。 教材:「子夜呉歌」(李白)・「石壕吏」(杜甫)	○			◎	○	a:積極的に音読している。 d:正確に書き下し、口語訳している。 e:漢詩の形式や句形、語句を理解している。作品の歴史的背景を理解している。	abc:行動の観察と記述の確認 de:記述の確認及び定期考査

2学期	物語(二)	歴史物語を飛んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。 教材:大鏡「最後の除目」・「肝試し」				◎	○	a:積極的に音読している。古語辞典を使用して意味を調べている。 d: 古語の意味、文法事項を押さえながら、正確に口語訳し内容を理解している。 e: 重要古語の意味、助動詞の用法、敬語のしくみについて理解している。登場人物について、歴史的知識を持っている。	a:行動の観察を記述の点検 de:記述の点検と確認
	評論	学問的随筆を読んで、作者の思想や論理を読み取る。 教材: 「玉勝間」	○			◎	○	a:積極的に音読している。古語辞典を使用して意味を調べている。 d:本文を正確に理解し、口語訳している。 e:重要古語の意味を理解している。作者について文学史的知識がある。	abc:行動の観察及び記述の点検 de:記述の確認及び定期考査
	近世の小説	近世小説を読んで、登場人物の行動や心情を話の展開に即して読み取る。 教材:「大晦日合はぬ算用」(井原西鶴)	○			◎	○	a:積極的に音読している。古語辞典を使用して意味を調べている。 d:物語の流れ、登場人物の動きや心情を理解している。 e: 重要古語の意味、助動詞の用法、敬語のしくみについて理解している。作品の全体的な構成を理解している。	a:行動の観察を記述の点検 de:記述の点検と確認
	思想(漢文)	儒家思想の代表的な文献を読み、その世界観を理解して視野を広げる。 教材:「孟子」「荀子」	○			◎	○	a:積極的に音読している。 d:正確に書き下し、口語訳している。 e:漢文に特有な語彙や句形を理解している。中国思想史における儒家の位置づけを理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 de:記述の確認と分析及び定期考査
3学期	日記	日記を読んで、作者の物の考え方、心情に触れる。 教材:「和泉式部日記」「蜻蛉日記」	○			◎	○	a:積極的に音読している。古語辞典を使用して意味を調べている。 d:古語の意味、文法事項を押さえながら、正確に口語訳し内容を理解している。 e: 重要古語の意味、助動詞の用法について理解している。作品について、文学史的知識を持っている。	abc:行動の観察を記述の点検 de:記述の点検と確認

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:話す・聞く能力 c:書く能力
d:読む能力 e:知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域(「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」)に関わる観点には◎を付している。